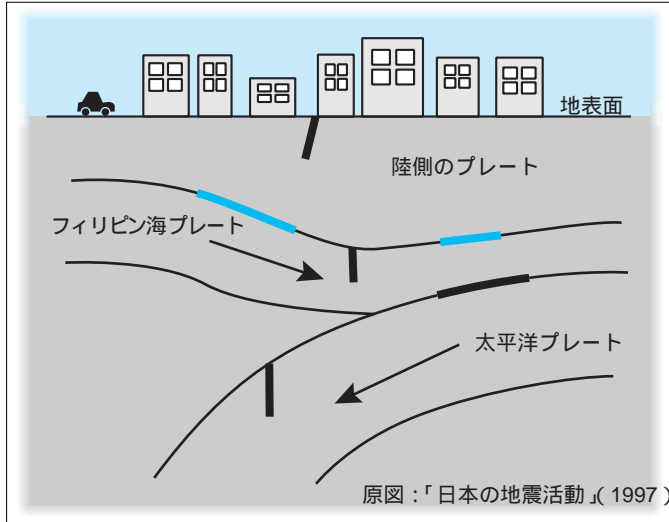


関東地方周辺で発生する地震 図1



原図：「日本の地震活動」(1997)

地震はこれらプレートの内部、境界などで発生しています。その地震を分類すると次のとおりです。①活断層などで発生する浅い地震（深さ0～20km）、②陸側のプレートとフィリピン海プレートとの境界で発生する地震（深さ20～50km）、③フィリピン海プレートの内部で発生する地震（深さ50～100km）、④フィリピン海プレートと太平洋プレートとの境界で発生する地震（深さ50～100km）、⑤太平洋プレートの内部で発生する地震（深さ50～100km）。これらの地震のうち、狭山市に被害が発生する恐れがある地震として、②のタイプを想定し地震を設定しました。（図1）

防災対策の強化を図るため

市では、阪神・淡路大震災の教訓から、狭山市地域防災計画の見直しをはじめ、関係団体と災害時における相互応援協定の締結を進めています。この調査は、当市の直下を震源とする地震が発生した場合を想定し、市内の被害がどれくらいになるか、基礎的なデータを把握することで、より一層の防災対策の強化を図るため実施したものです。

狭山市地震被害想定調査結果の概要

関東地方で発生する地震

狭山市を含む関東地方周辺では、プレートが複雑に沈み込んでおり、

地震はこれらプレートの内部、境界などで発生しています。その地震を

想定地震の設定

前提となる想定地震を、次のように設定しました。

震源の位置・深さ狭山市直下・30km規模マグニチュード7・2程度
季節・時刻冬・早朝5時と夕方17時
気象条件風速2.7m/秒、湿度59%

震度とマグニチュード

震度は、地震による地面の揺れの強さの程度を表す度合いで、震度計を用いて計測されます。一方マグニチュードは、地震そのものの規模で、震度計で測定した値から推計します。

想定調査結果の概要

想定地震の設定条件に基づき、主に、次の被害項目について調査しました。

震度

狭山市の直下を震源とした地震による市内の震度は、震度6弱から震度6強になると予想されます。（図2）地形別では、台地、低地で震度6弱、埋立地（盛土地）で震度6強になると予想されます。

建物被害

建物の構造、建築年代、地形などから建物の被害率を想定しました。市全体の建物数5万751棟のうち被害を受ける割合は3.4%（約1千700棟）、被害なしが96.6%と予想されます。

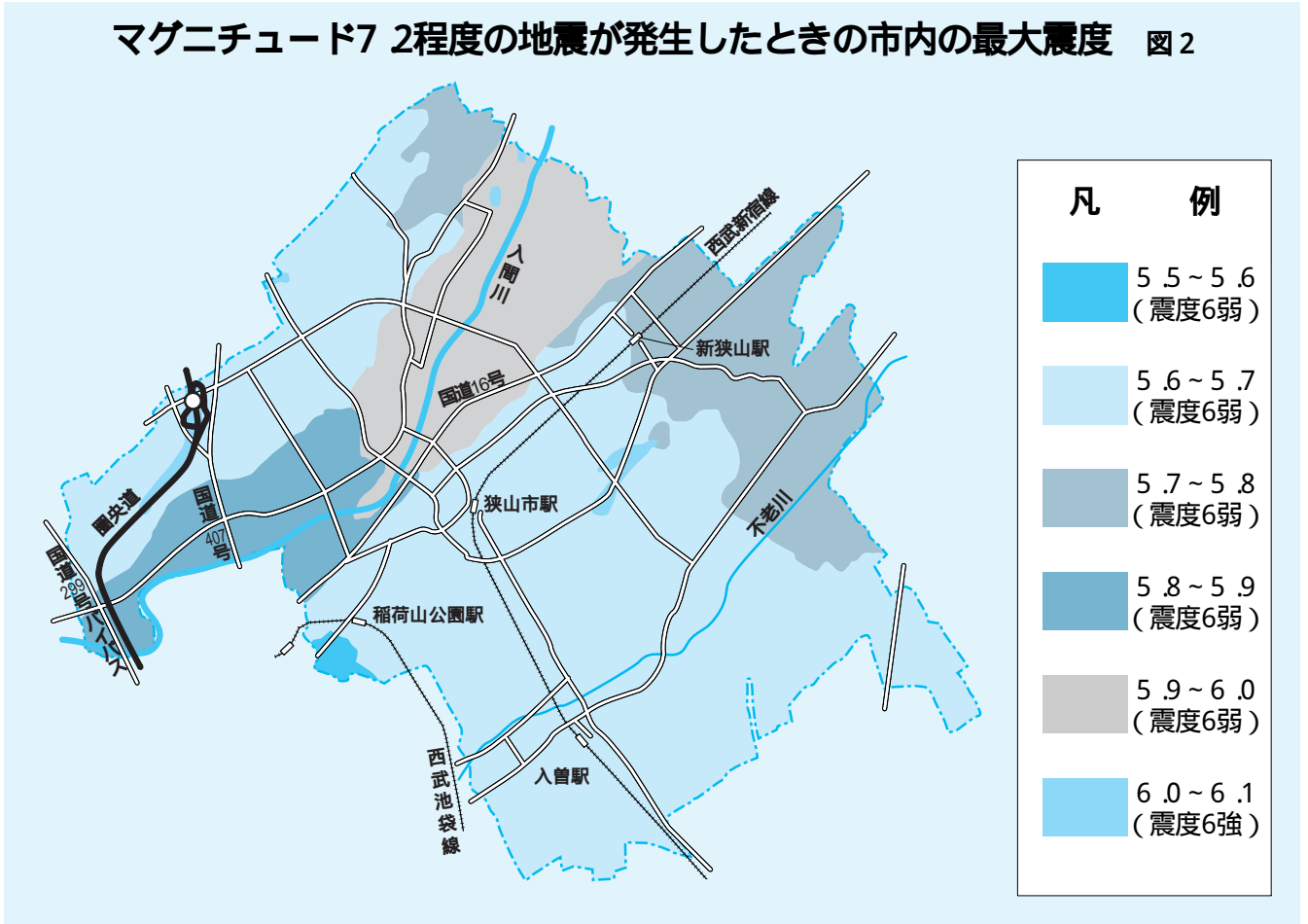
火災被害

出火件数は、建物の被害率、季節、時刻を考慮し、早朝5時と夕方17時の2つの時刻で想定しました。
出火件数 5時…4件 17時…19件
延焼による建物焼失件数 5時…6件 17時…168件

上水道被害

水道管の種類、管の口径などを考慮し、被害箇所数を想定しました。市内全体の被害箇所数185箇所、導水管被害6箇所、配水管被害179箇所

マグニチュード7 2程度の地震が発生したときの市内の最大震度 図2



問い合わせ生活環境課へ内線3694

万一の時の準備はできていますか？

万一の時にすばやく避難できるよう、日ごろから非常持ち出し品の準備をしておきましょう。男性で15kg、女性で10kgが目安です。

《主な非常持ち出し品》

貴重品現金、預貯金通帳、印鑑、免許証、健康保険証など 非常食品カンパン、缶詰、飲料水など 医薬品かぜ薬、胃腸薬、包帯など(常用薬を忘れずに) 衣類下着、タオル、軍手など その他携帯ラジオ、懐中電灯、乾電池など



予測できない事態に備えて

市では、これまでも防災施設や備蓄品などの充実を図り、備蓄倉庫に配置していますが、この調査結果に基づき、防災体制をより一層強化します。また、他の自治体や関係団体との相互応援協定の締結に取り組み防災体制の強化を図っています。しかし、災害が発生した際には市民皆さんの協力が不可欠です。そこで、阪神・淡路大震災の教訓から自分たちの街は自分で守る「をスローガンに、自治会などに自主防災組織の結成をお願いしていますが、各家

庭でも最低3日分の備蓄をお願いします。

備蓄体制の状況

備蓄倉庫 小・中学校などの避難所に小型備蓄倉庫を27箇所配置 大型備蓄倉庫を4箇所配置 飲料水など一日一人3ℓで7日分の飲料水を確保 生活用水として8箇所に災害用給水井戸を設置 備蓄食糧 クラッカー…約17万食 アルファ米…約1万食 その他の備蓄品 炊飯装置…移動式炊飯器、ガスコンロなど 日用品…紙おむつ、下着類、トイレットペーパーなど 医療/寝具…救急医療セット、毛布、担架など